

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会

### 電波利用環境委員会 CISPR I 作業班(第 7 回)議事録(案)

日時 : 平成 28 年 9 月 1 日(木) 13:30~15:30

場所 : 中央合同庁舎第7号館(金融庁) 13 階 1320 会議室

出席者(敬称略):

(構成員)

|      |        |  |
|------|--------|--|
| 主任   | 雨宮 不二雄 | NTT アドバンステクノロジー(株)先端プロダクツ事業本部環境ビジネスユニット EMC センタ      |
| 主任代理 | 堀 和行   | ソニー(株)品質・環境部プロダクトコンプライアンスグループ チーフEMC/RFコンプライアンスマネジャー |
| 構成員  | 秋山 佳春  | 日本電信電話(株)NTT ネットワーク基盤技術研究所 環境基盤プロジェクトマネージャ           |
|      | 今村 浩一郎 | 日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部 上級研究員                       |
|      | 大西 輝夫  | (株)NTTドコモ先進技術研究所ワイアレスフロントエンド研究グループ主任研究員              |
|      | 加藤 千早  | (一財)電波技術協会 調査研究部長                                    |
|      | 橋高 大造  | (一社)電波産業会 研究開発本部 電磁環境グループ 主任研究員                      |
|      | 久保田 文人 | (一財)テレコムエンジニアリングセンター                                 |
|      | 塩山 雅照  | (株)TBS ラジオ 総務局技術部 部次長 送信所長                           |
|      | 島先 敏貴  | (一財)VCCI 協会 技術副部長                                    |
|      | 千代島 敏夫 | PFUテクノコンサル(株)製品開発センターEMC 統括主任技術者                     |
|      | 星野 拓哉  | (一社)情報通信ネットワーク産業協会                                   |
|      | 松田 与志夫 | (一社)電子情報技術産業協会 マルチメディア EMC 専門委員会                     |
|      | 村上 成巳  | (一財)電気安全環境研究所 横浜事業所 EMC 試験センター測定グループマネージャ            |

(事務局)

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 谷口 智哉 | 総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電磁監視官  |
| 柴田 由里 | 総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電磁障害係長 |
| 酒井 健司 | 総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電磁障害係  |

【配布資料】

|         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 資料7-1   | CISPR I 作業班(第 6 回)議事要旨(案)     |
| 資料7-2   | CISPR 杭州会議 I 小委員会 総会 対処方針(案)  |
| 資料7-3-1 | 電波利用環境委員会報告概要(案)(I 小委員会関連)    |
| 資料7-3-2 | 電波利用環境委員会報告(案)(I 小委員会関連)      |
| 資料7-4   | CISPR 杭州会議 I 小委員会関連会議参加者(案)   |
| 参考資料7-1 | CISPR 杭州会議 I 小委員会 WG2 対処方針(案) |
| 参考資料7-2 | CISPR 35 の国内規格答申の提案           |
| 参考資料7-3 | CISPR I 作業班 構成員名簿             |

## 議論

(0)はじめに

- 新しく構成員となった方からの自己紹介(今村、大西、塩山、星野)
- 事務局から配付資料8点についての確認(柴田)

(1)前回議事要旨(案)確認【資料7-1】

- 資料7-1前回議事要旨(案)についての説明(柴田)  
※修正意見等あれば1週間以内に事務局まで連絡することで承認された

(2)CISPR 杭州会議 I 小委員会関連対処方針(案)審議【資料7-2、参考資料7-1】

- 資料7-2についての説明(雨宮主任)
  - 対処方針案のポイントは、CSPR32 第 2.0 版のメンテナンス、CISPR35 初版の修正へ向けた課題抽出整理である
  - CISPR35 発行に伴う CISPR20、CISPR24 の廃止について、日本として少なくとも5年の猶予期間を提言する
  - 次回会議の CISPR/I はロシア ウラジオストックの予定である
- 参考資料7-1についての説明(千代島)
  - CISPR32 第 2.0 版はメンテナンス課題が多数あるため WG2 が開催される
  - 審議項目には短期的作業と長期的作業があり、長期的作業は時間が無ければ次回に延期される

<(2)の質疑>

- 資料7-1の3. 1項のAP2(広帯域 PLC)はどのような内容か(大西)
  - 広帯域 PLC はタイプ1(欧州)とタイプ2(欧州以外)がある(雨宮主任)
    - ◇ 欧州ではタイプ1を欧州規格化するために CENELEC で投票可決され運用が始まる状況にある(雨宮主任)
  - CENELEC から広帯域 PLC の検討再開の提案があったが、欧州各国からも反対が出たため、CISPR/I ではアクションを起こさない結論となった(雨宮主任)
- 参考資料7-1の4. 3項(長期的作業)は、時間が無ければ延期とのことだが、5項(その他)を先に議論することになるか(谷口)
  - その予定である(千代島)
- 参考資料7-1の4. 3 d)について、「APD許容値案を提案する」とあるが、誰が提案する予定か(谷口)
  - 日本が文書にまとめて提案する予定である(千代島)
- 参考資料7-1の4. 2 c)について、「SC-Iでの CD 発行を支持する」のはなぜか(谷口)
  - VCCI が試験を行い、日本で先導して検討を行ってきた経緯があるため CD 発行を進めたい(雨宮主任)
    - ◇ 4. 2 c)と同様に、4. 3 b)(有線ネットワークポートの伝導エミッション測定のための新ANN)も日本が先導して進めてきた経緯がある(雨宮主任)

(3)電波利用環境委員会報告書(案)について【資料7-3-1、7-3-2】

- 資料7-3-1についての説明(雨宮主任)
- 資料7-3-2は、資料7-3-1と同様の内容のため説明を省略(雨宮主任)

<(3)の質疑>

- 資料7-3-1の文書略称(2ページ)の中に、RR(Review Report)の追加は必要か(雨宮主任)
  - 1ページ目に記載があるため追加は不要である(柴田)
- CISPR35の改定について、項目の抽出・整理は日本で行っているのか(谷口)
  - 日本でドキュメントを作成しているところである(雨宮主任)
  - CISPR24にしか書いていない内容があるため、CISPR24が無くなる前にCISPR35を改定する必要がある(雨宮主任)
- 資料7-3-2の3ページ目はフォントが混在しているので修正する(雨宮主任)
- 資料の改定の漢字(改定・改訂)は統一した方がよい(島先)
  - 確認して修正する(柴田)

(4)CISPR 杭州会議 I 小委員会関連会議参加者(案)について【資料7-4】

- 資料7-4についての説明(雨宮主任)  
※本件は、特に異議なく承認された

(5)その他

① CISPR35の国内企画答申の提案について【参考資料7-2】

- 資料7-2についての説明(雨宮主任)
  - CISPR20とCISPR24を統合して、CISPR35第1.0版が発行された
  - CISPR35第1.0版の国内規格答申案を作成するために、I作業班内部にアドホックグループを設置したい
  - 資料に記載のアドホックグループメンバーはたたき台である

<(5)①の質疑>

- アドホックグループの設置は、I作業班として合意後に総務省で準備が整えば始めたい(谷口)
- CISPR24にありCISPR35には無い内容があるが、CISPR35が出たらCISPR20、CISPR24は失効するか(谷口)
  - 移行期間があるので、その間にCISPR35を急ぎ改定する必要がある(雨宮主任)
  - CISPR35第2.0版がでるか(谷口)
    - ◇ CISPRの改定は時間がかかるため、CISPR20、CISPR24が失効するまでにCISPR35第2.0版は出ないと思われる(雨宮主任)
    - ◇ 改定の内容はCISPR35のデビエーションとして盛り込みたい(雨宮主任)
- 工業会によって解釈が違っていると困るため、拠り所となる答申が必要である(雨宮主任)
- メンバーについて雨宮主任で検討、準備をお願いしたい(谷口)  
※アドホックグループの設置について、I作業班としては特に異議なく承認された

② 今後の予定

- 今後の予定は、9月13日の電波利用環境委員会での審議がある(柴田)
- 次回会合は、事務局から構成員にメールで連絡する(柴田)

以上